

学校名	笠岡市立北川小学校	学校長名	岡田 達也	事業名	魅力ある授業づくり徹底事業	放課後学習サポート事業	0	0
-----	-----------	------	-------	-----	---------------	-------------	---	---

全国学力・学習状況調査の結果の分析

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 学力調査問題の正答率は、全国平均を大きく下回るが、無解答率はやや上回る。 授業において「振り返る活動をよく行っている」と肯定的な回答率が高く、めあてやまとめ、振り返りを意識した授業づくりがなされている。 ゲームやスマホ等に費やす時間、家庭での学習時間等、肯定的な回答が全国平均を上回っている。 	<p>国語Aでは、漢字の読み書き、ローマ字の読み書きに課題がある。また、目的や意図に応じて、書く事柄を収集したり整理したりすること、表現をよりよくするために工夫することに課題がある。</p> <p>国語Bでは、どの領域においても、記述することに課題がある。特に、目的や意図に応じて、グラフや図表をもとに取り出した情報から、文字数やキーワードを等の条件に合わせて自分の考えを書くことに大きな開きがある。</p> <p>算数Aでは、小数の除法、分数の乗法の正答率が全国平均に比べ大きく下回る。また、小数の除法で被除数と商の大きさを考えること、除法の性質を理解して整数に置き換えて計算することに課題がある。さらに、問題場面を正しく読み取ることができなかつたり、基準量と比較量の関係を正しく捉えることができない児童が多い。</p> <p>算数Bでは、記述問題の正答率が全国平均との開きが大きい。特に、「事実」の記述は全国平均とほぼ同じであるが、「方法」や「理由」を説明する記述は課題がある。</p>

具体的な改善の目標設定とその方策

何を (改善すべきこと)	いつまでに (成果検証の期限)	どこまで (対象と達成目標の設定)	どのように (方策)	達成状況 (12月末現在)	達成 度	達成状況 (2月末現在)	達成 度	次年度への改善点
漢字・計算の当該学年までの基礎学力の定着	今年度末	既習の漢字・四則計算問題の90%以上の定着	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習、家庭学習の充実 学力学習状況調査の過去実施問題た単元末テストの活用 					
家庭学習の充実	次年度調査	家庭学習の習慣化・学習時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引き(本校作成)の活用 家庭学習の内容・時間の確認(家庭学習カードの記入) 自主学習の奨励(自主学習ノートの掲示による賞揚) 					
国語・算数の問題の全国平均正答率以下の設問の克服	たしかめテスト・次年度調査まで	全国平均以上	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習、家庭学習の充実 補充問題の実施 定期的な小テスト 					

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」

「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な情報交換や公開授業を行い、学習規律の共通理解を図るとともに、指導力の向上を図り、小中9年間を見通した一貫教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の手引き」を通して、家庭学習の時間の確保、学習習慣の確立への協力を得る。 地域の人材を活用して、放課後や休日の補充学習の際の児童への個別指導や採点等の取組を充実させる。